

令和7年度 和歌山大学大学院教育学研究科専門職学位課程（教職大学院）

第二次入学試験問題・解答用紙 [小論文] (4枚の内の1)

受験番号

コース：学校改善マネジメントコース



問題)

下図のように「令和5年度全国学力・学習状況調査の結果」では、小学校国語の結果として、「複数の資料を読んで理解したことと関連付けながら、自分の考えをまとめることに課題がある。」と指摘されています。この課題は、教科横断的に育成することが求められている「情報活用能力」にも関わっています。このような「情報活用能力」を育成するために、あなたはどのような授業を提案できますか、具体的な校種・教科名を挙げて1200字程度で述べなさい。

図：小学校国語「読むこと」についての課題

◆複数の資料を読んで理解したことを関連付けながら、自分の考えをまとめることに課題がある。

具体的な設問例 (大問2四)

【資料1】、【資料2】、【資料3】を読み、運動と食事について分かつたことをもとに、下の条件に合わせて、これから自分ができそうなことをまとめて書く。



時事、米物など

正答率：56.4%

・資料を

- ・分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書く。
 - ・80字以上100字以内で書く。

〈正答例〉

健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたりしようと思います。（99字）

〈誤答例〉

(質問5)
好きなものばかり食べると、栄養がたよってしまい、つかれやすくなるので、バランスよく食べることが大切だと分かりました。だから、わたしは、これからも、お半やお肉や野菜をバランスよく食べていきたいです。(99字) ... 12.1%

誤答例の分析と課題

このように解答した児童は、運動に関する資料と食事に関する資料の両方に基づいて自分の考えをまとめたという条件があるにも関わらず、食事に関する資料の内容や考えのみ書いており、運動については言及していない。複数の情報を関連付けながら、自分の考えをまとめることに課題があると考えられる。

指導改善のポイント

〔知識及び技能〕の「情報の整理」の指導事項との関連を図り、児童が日常生活において考えをまとめる際に、単一の情報のみに基づくのではなく、複数の情報を比較したり、関連付けたりして検討するように指導することが大切である。

「令和5年度全国学力・学習状況調査の結果」5ページ目より抜粋

解答

第二次入学試験問題〔小論文〕解答例・出題の意図

コース：学校改善マネジメントコース

【出題の意図】

情報活用能力の育成は、国語の時間が要となることは押さえつつ、すべての教科・教科外活動においても、情報を比較・関連付けて考える力を育成する機会があり、教科横断的に育成が求められている資質・能力であることを理解し、自分の取得する免許状に応じた学校種・教科の授業時間で複数の情報を比較する学習や情報を関連付けて読みとく学習をどのように取り入れていくのかについて、具体的に記述する問題である。特に、情報の比較・関連付けは、各教科の見方・考え方と関係していることを踏まえた記述が求められる。